

Master's thesis

Kosuke Toda

2022/2/1

# 目次

第 1 章	緒論	1
第 2 章	準備	2
2.1	△△ . . . . .	2
2.2	XX . . . . .	2
第 3 章	XX による解析	3
第 4 章	△△の工学的応用	4
第 5 章	結論	5
	謝辞	5
	参考文献	7

# 第 1 章

## 緒論

近年, ○○が流行っている [1].

○○において, △△という現象が起こるという報告がある [2]. しかしながら, この研究ではこのようなことが議論されていない.

本研究では, XX という手法を用いてこの現象の解析を行った.

本論文は以下のように構成されている.

## 第 2 章

# 準備

本章では、△△という現象と XX という手法をまとめる。

### 2.1 △△

### 2.2 XX

## 第 3 章

# XX による解析

本章では，△△を XX によって解析した結果についてまとめる．



図 3.1: AI っぽい図

## 第 4 章

# △△の工学的応用

本章では、△△という現象を工学的に応用できないかということを検討する。

## 第 5 章

### 結論

本論文では、〇〇で見られる△△という現象について、XX という手法を用いて解析を行った。さらに、△△の工学的応用について検討した。

今後の課題は□□である。

# 謝辞

本研究を進めるにあたり，丁寧にご指導いただいた A 大学 B 研究科，C 教授に厚く御礼申し上げます．



## 参考文献

- [1] A. Bb.  $\circ\circ$  and its application. *Journal*, No. 2, pp. 1–10, 2019.
- [2] C. Dd. The analysis of  $\triangle\triangle$  in  $\circ\circ$ . Proceedings of 2020 5th conference of  $\circ\circ$ , pp. 11–14, 2020.